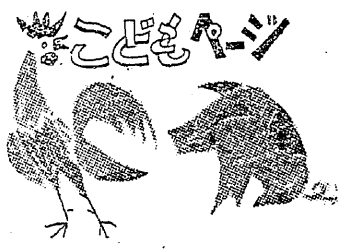
こどもページ



ことしはトリ年
にわとりものがたり

トリ年にちなんで、ニワトリのお話をいたしましょう。ニワトリは日本では六、七千も前のじようもん時代からかわれていました。そのことは、ハニワ（そうしきに人といつしよに土にうづめるためにつくつたやきもの）にニワトリがあることでもわかります。多分野や山をかけまわつても、えものがとれなかつたときに、ニワトリが食料になつたり、朝の目ざまし時計の役目もはたしたものだと思います。

目ざましと云えば、江戸時代、いや昭和のはじめごろまで、時計が普及するまで正刻鳥といつて、りつぱに時計の役目を果たしてきたもので、大昔から人間の生活には大へん役立つています。

皆さんのお好きなチキン料理は世界の高級料理としてよろこばれ玉子の方もアイスクリームや各種お菓子、お料理、飲物に欠くことのできない材料になつています。

また女のひとの美容にも使われ羽は婦人用のぼうしやアクセサリー（かざり）自動車のハタキ、羽毛ふとんにまで使われ、用途は大へんひろいのです。

卵からヒナになるまで

さてそれではニワトリはどのようにして生れ、そだつてゆくのでしよう。以下渡瀬駅裏の古賀電れつふらん場に皆さんを案内して一しよに見学してお話をききましよう。

ニワトリの世界ではメスだけが大事にされて、オスは生れても大てい不幸な目を見ます、それはオスは卵を生まぬからで、メスのうちでも卵を多くうむ品種ほど大事がられます。

そのために養けいを正業にする家では血統の正しい品種をえらぶので、卵を大量ふ化するふらん場では、血統の正しいニワトリの卵を得るために、種ドリを飼います種ドリは一年に四百も卵を生む、すばらしいおやドリで、その卵からかえつたヒナがよく生むトリになるのは当然です。

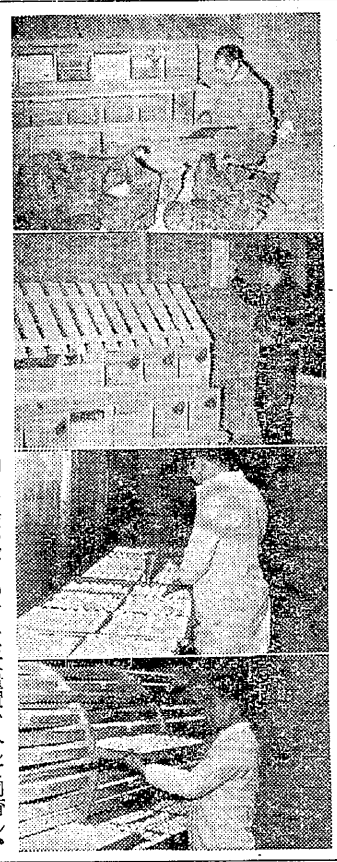
種ドリの生んだ卵は集められて無せい卵を選りだされ、ふらん器に入れられます。ふらん器は一基で一万個の卵を入れ華氏百度を保つように電気ヒーターで温められ廻てん式になつていて温度が平均する仕組です。卵は二十一日目にヒヨコになります。ヒヨコはオスメス大体同じくらい生れます。

生れたヒヨコはかんべつ師によつてオスとメスにわけられます。白色レグホン種などメスは八十五円もしますが、オスは五円くらいの卵より安い値で街頭で投売りされたり、雑飯と一しよに煮られてブタの食物にされたりします。

そうして選りだされたメスヒナは各養けい場などに送られてゆきます。

養けい場では暖房そう置のある育すう舎のなかですくすくと育つてゆき、それが約五カ月すると卵を生むおやドリになり卵は各市場に送られ、私たちの食ぜんに上ります。

【上から】1、2、さん卵の統計をとるス箱
3、無せい卵（かえらぬ卵）を選びだす
4、ふらん器（一万個の卵が入る）



ニワトリの種類は採卵用に白色レグホン、卵肉兼用にロードアイランド、ニューハンプシャー、ブリモスロツクなどがあります。

ニワトリの寿命は十三年と云われ、七、八年すると卵は生まなくなります。

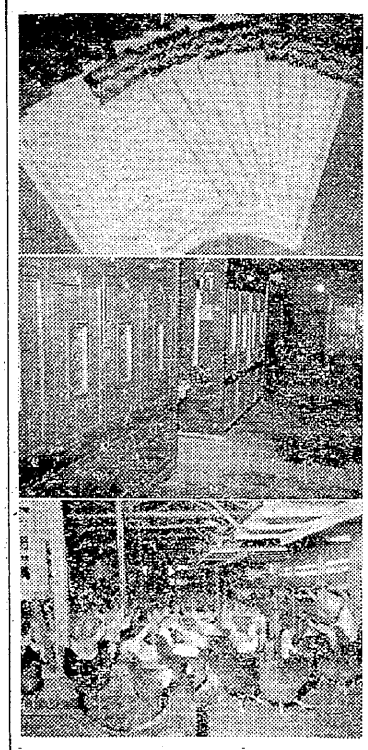
卵を一ばん生むのは三、四、五月、次に七、八、九、二月で一ばん生まない月が十、十一、十二、一月でその月は卵の値だんがあがります。

養けい場では採らん専門のほかに、最近は肉用にするためにふ化場からロツクホーン等の一代雑種のオスを大量買い入れて飼育し、八十日から百日位して若トリで市場に出荷するということも行われています。

タマゴの栄養価は一個でたん白が牛乳一合と同じで、ビタミンAは牛乳より多く、カルシユームは牛乳の方が多いということになつています。えさの足りないときの卵は栄養も少ないそうです

地しんがおこる一寸前にけい舎でニワトリがさわいで、コケツコケツと鳴きはじめるのも妙ですが顔やトサカがまつ赤になつてふくれだすと卵を生みはじめるのも妙です。

ヒヨコの言葉をつう訳すると、つよくチーチー鳴くときは（さむいよ）とか（暑くて苦しいよ）でピヨツピヨツとつよく鳴くときは（お腹がすいた）ピリピリと静かに鳴くときはごきげん。ピヨピヨとやさしく鳴くのは（友たちがほしい）とさびしがるときです。



【上】血とう書【中】ふらん器【下】種けい場

ヒナのオス、メスのかん別

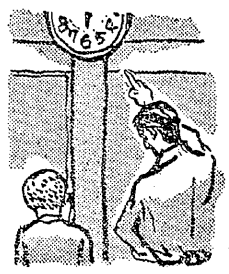
児童作文

＝入選一席＝
「時計」

天道校　五年　加藤輝征

おじいさんの代から三十年も使つたという柱時計が僕の家にはありました。セイコー舎の丸型時計です。音も大きく文字も大きかつたので、本当に見安く便利でしたがもう古くなつたのでお父さんが新らしく買うといつて柱からはずしました。お父さんはその時計を買つた時の話しを始めてくれました父ちやんが小学五年生の時にちいちやんが好きな酒をやめて二十円出して買つたそうです。父ちやんの兄弟は五人いたそうですが三十年前に父ちやんの妹が二年生になり時計の問題が算数に出るようになつたのでいそがしい仕事をもつていたちいちやんは時計の見方を習いて教える事が出来ないので本当の時計を買つて教えた方がよく分るから自分の大好きな酒を止めてまでして子供の勉強になるために買つてくれたそうです。その時計が今まで三十年の間ちいちやんやお父さんの仕事のために父子供の勉強のためになつた事を聞いて僕は心からその時計の有難い事に気がつきました。新らしく買つた柱時計も僕達や弟達の勉強にもなりお父さんお母さんの一日の仕事を正しく見守つてくれます。

（終）



＝入選二席＝
時計

六年　永野香代子

この間机の中を整理しました。その時おもちやのうで時計が出てきました。このうで時計は今でもキラキラとよく光り、大変りつぱそうですけれども、大切な機械ばかりつぽで、機械のはいるところに、小さく丸くかわいたおいもがはまつています。私はこんなおもちやで遊んだ時のことを思い出して、一人でクスクスと笑つたり、私の家中にどれほど時計があるかを考えました。

私の家には、柱時計、目ざまし時計、うで時計、おもちやの時計など、全部で六個あります。柱時計のねぢ巻はお父さん、目ざまし時計のねぢはお母さんが、夜ねるころに巻きます。そうしてお母さんはねていて手のとどく所に目ざまし時計をおいています。

お母さんはこの目ざまし時計の力で、坑内に働きに行くお父さんの用意をしたり、私たちが学校におくれないように世話したりします。私はこの間の朝三時半ごろ、目ざまし時計が鳴つているのを初めてききました。私はうれしいような気持ちがして、お母さんのせ中を力一ぱいゆさぶりました。お母さんはねむそうなお顔をして、私と時計をじいつと見ていました

＝入選三席＝
時計

天道校四年　山下みちよ

私のうちには時計は二つしかありません。柱時計はまえあつたのだそうですが、せんそうのときしゆうぜんのため時計屋えだしていてくうしゆうでやられて時計はとうとうかえつてこなかつたそうです お母さんが柱時計を買わなくちやねといわれたらそばからお父さんが来年は会社から二十五周年記念にもらうから買わんでもよかたいといわれた。私のうちの二つ時計はお父さんのが一つでこの時計は会社にもつていかれるのでいつもはうちにはありません。もう一つのはお母さんがおよめにこられてから十五年になるのでおいわいに買つた金の時計です。お父さんの会社からもらう柱時計が早くくればよいとにいちやんと私と楽しみにしてまつています。時計のようにこつこつと勉強をしようと兄ちやんとしん一枚上げます。ますみさんもしやしん下さいね。楽しみに待つています。では又お便りします。お元気で

富士山は真白よ
三池と山梨の文通つづく

昨年の二月山梨県の小学生とヤマを結ぶ手紙として有名になつた文通は、これを契機としてヤマのおじさんたちからバトンが子供にうつされた。ヤマの子供と遠い北国の子供たちの間に文通がはじめられたのは昨年の早春ごろからである。

そのご途絶えがちながらもこの文通はつづけられているが、旧ろう師走のあわただしい中に寄せられた宮浦支部関係の十通の中からその一つを紹介してみます。

手紙の差出人は山梨県塩山市松里上小ふじ木の中村捷美ちやん、受取人は宮浦支部小柳国雄さん（掘進）の子供ますみちやんです。

ますみさんしばらくでございます。長らくごぶさたしました。その後元気に通学していることと思います。私も元気で毎日勉強しています。正月も間近になりました（中略）こちらは先日雪が降りました。とても寒さが身にしみます。富士山はま白になつてま南にさむさむとそびえています。そちらはあたたかいでしようね。うらやましく思います。私達は寒くて手足が凍りそうです。一学期に江の島、かま倉に修学旅行に行つて来ました。かま倉には大きな大仏様がありました。江の島の海辺で楽しく遊んだことなどが思い出になりました。

ますみさん達もどこかへ行つて来たでしようね。きつと楽しみつたことと思います。私のしやしん一枚上げます。ますみさんもしやしん下さいね。楽しみに待つています。

では又お便りします。お元気で

手紙を待つ捷美ちやん

若の花物語
土俵の鬼

若ノ花は昭和三年に青森県で生れた。五つのとき両親と北海道の「むろらん」へうつり、家がびんぼうなために高等小学校をでるとかれは港で石炭の荷役をやつた。四十貫もある荷もつを肩にかつぐこのしごとが、あの足と腰のむるいの強さをつくつたのです。

昭和二十一年夏、いまの花籠親方大ノ海にみいだされて上京しました。いまかれと一しよに住んでいるお母さんは、そのころのことを思いだして「勝治（若ノ花の本名）が長男でしたから…でもあれのねがいをかなえてやつてよかつたと思います」と東北なまりでかたつています。

しかしつよくなろうとするかれをおそつた試練はすもうの相手ばかりではなく、すもうかいとくゆうのへやせいど一大べやにくらべて子べやの苦しみはなみ大ていではなかつた。本場所ではおなじへやのオスを大量買い入れて飼育し、八十日から百日位して若トリで市場に出荷するということも行われています。

タマゴの栄養価は一個でたん白が牛乳一合と同じで、ビタミンAは牛乳より多く、カルシユームは牛乳の方が多いということになつています。えさの足りないときの卵は栄養も少ないそうです

地しんがおこる一寸前にけい舎でニワトリがさわいで、コケツコケツと鳴きはじめるのも妙ですが顔やトサカがまつ赤になつてふくれだすと卵を生みはじめるのも妙です。

ヒヨコの言葉をつう訳すると、つよくチーチー鳴くときは（さむいよ）とか（暑くて苦しいよ）でピヨツピヨツとつよく鳴くときは（お腹がすいた）ピリピリと静かに鳴くときはごきげん。ピヨピヨとやさしく鳴くのは（友たちがほしい）とさびしがるときです。

ね、さようなら。

という手紙でした。北と南をむすぶこの手紙はこんども続けられていくことでしよう。

に役力士をもたないのであらゆるきようどうにあたらなければならなかつた。だが少年時代からの苦なんにきたえられた精神力と、すもうかい一番といわれる毎日二時間のもうけいこ、それにもましておうせいなけんきゆう心が、あのむるいのつよさをつくり上げました。昭和三十一年ばつ場所、春場所ともにじゆんゆうしよう、夏場所で初ゆうしよう、そして秋場所れんぞくゆうしようとよこずなの二つのえいかんを目の前にして、愛児勝雄がチャンコなべで大やけどして死んだ知らせが入つたのでした。若の花は狂気のように愛児をかきいだいて「勝雄、勝雄」といつまでもさけんでいた。このじけんは新聞でほとどうされたが、この勝雄の死いらい家にとじこもり口もきかず、勝雄の名をきざんだじゆずを首にかけ、めいもくするのでした。

いよいよ初日がきた、ぶつだんの前にすわりこんでいた若の花はフアンの見舞とはげましの手紙を前にして、ふと一つの手紙をあけてみたら、昔の相撲子でけがのためすもうをやめていつた横手山のこどもからの手紙だつた。「カツオチヤンノ、オトウサンカナラズ、カツテクダサイ、ヤスオ」これをみたかれは、突然「したくしてくれ」と立上つた。この日から毎日勝ちどおし人々はその精神力におどろいたが十四日目にひうんにも熱のためたおれたのです。

この若の花ものがたりは土俵の鬼という映画になりました。

しんねんこどもクイズ

私は誰でしよう？

一問＝私は熊本県生れの野球の選手で背番号は「十六」でセ・リーグにいます。子供が大すきです

二問＝私は中国にいるお父さんに逢うためにはるばる飛行機で参りました。学校にいかない小さい私が病気のお母さんのかわりに行つたので非常に可愛がつてもらいました

三問＝僕は中国の物語に出てくる石の猿です

四問＝私は日本ではじめてノーベル賞をもらいました。原爆はいやですねエー

五問＝私は余りイタズラしたので柱にくくられました。悲しくて悲しくて涙が出て来ました私はその涙でネズミを書きました

こたえの出しかた

(1)ハガキの大きさに、お父さんやお母さん、兄さんの、しよくばと名前を書いて、あなたの名前を書き、こたえを(1)(2)(3)(4)(5)の順に書いて下さい

(2)かいたらそれを、そうどうくみあいえ持つて行つて下さい

(3)正解者の中から二〇名を当せん者とし、残つた人全員に残念賞を出します

(4)しめ切りは一月八日まで